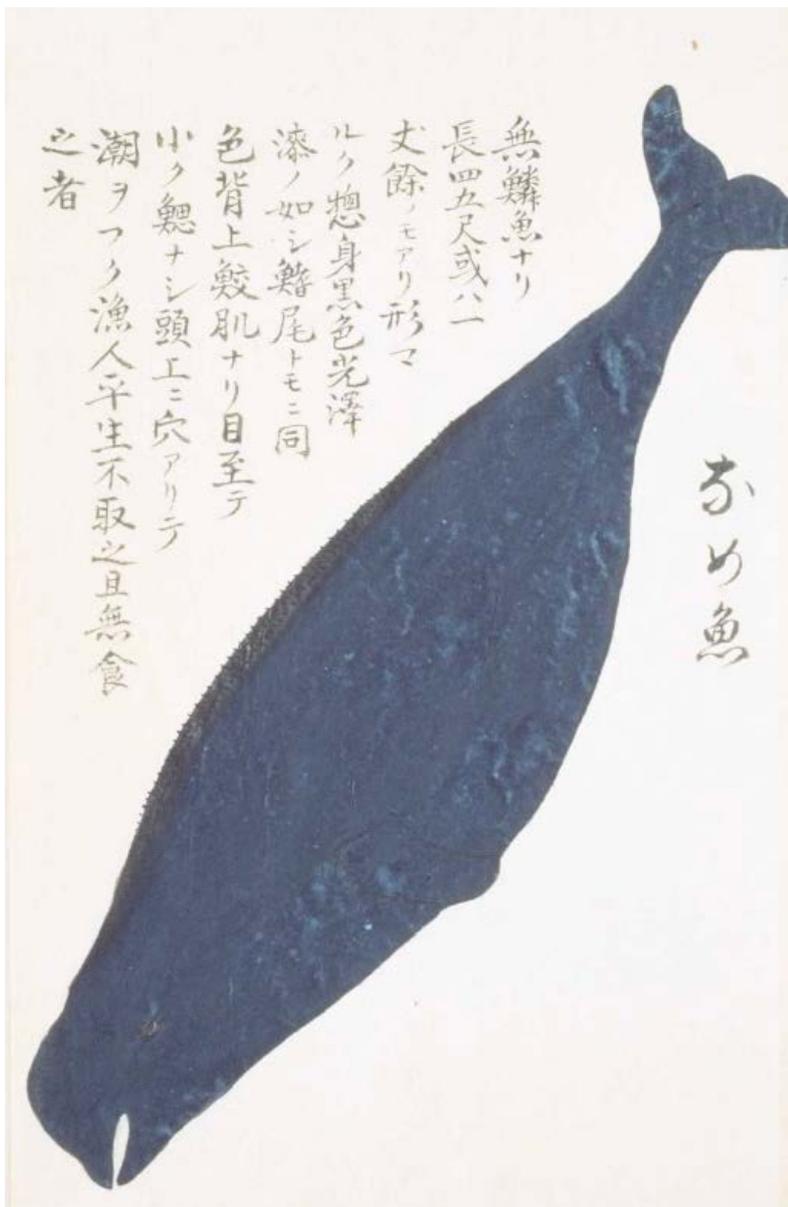


楷

第六十九号

岡山大学
附属図書館報
OKAYAMA UNIVERSITY
LIBRARY BULLETIN

KAI
No.69
2019
OCTOBER



<写真>

なめ魚

無鱗魚ナリ

長四五尺或ハ一丈余ノモアリ形マルク

惣身黒色光沢漆ノ如シ鱗尾トモニ同色

背上鯨肌ナリ目至テ小ク鰓ナシ

頭上ニ穴アリテ潮ヲフク

漁人平生不取之且無食之者

「備前国備中国之内領内産物絵図帳」（岡山大学附属図書館所蔵池田家文庫より）

—目 次—

- 二〇一九年夏のある大学図書館（附属図書館副館長 甲賀研一郎）…………… p.2
- 大学院予備教育特別コースにおける図書館ガイダンス-その内容と意義-（グローバル人材育成院 金光紀子）…………… p.5
- マスカット…………… p.8
池田家文庫絵図展のお知らせ、岡山大学公開講座「江戸時代の倉敷の町の成り立ち」実施報告、オープンキャンパス報告 ほか
- 会議・研修・編集委員から…………… p.16

二〇一九年夏のある大学図書館

甲賀 研一郎

「なぜ人は本を読むのか？その答えは、大多数の人は“読まない”ということになる」と述べたラッセルの言葉をもじると、「なぜ人は図書館に行くのか？その答えは、大多数の人は“行かない”ということになる」のかもしれない。しかし、それは図書館に限らず美術館でも科学館でもそうだろう。もしも大多数の人びとが日常的に行くような場所になれば、館内はどこも大変な混雑となり、静謐空間を好む人（おそらく図書館に足を運ぶひとの大半）の楽しみは奪われるだろう。

とは言え、大学図書館に話を限定すれば、今も昔も、大多数の人が利用し、その主な目的は勉強または研究のため、となるだろう。ここ数十年で大きく変化したことは、目的ではなく、利用方法であり、大学院生を含む大半の研究者は図書館に実際に行く代わりに、学内外のあらゆる所から遠隔操作で電子ジャーナル・データベースを利用して、研究活動に必要な情報を得るようになった。

その変化は、岡山大学附属図書館経費に占める電子ジャーナル等の購読料の割合が今や7割近くに上ることにも反映されている。利用方法の変化自体はインターネットの普及に伴う普遍的なものだが、その変化に大学図書館がどう対応しているのかは、各国・各大学の事情や方針によるだろう。ここで、米国のある大学図書館の状況について今夏調べたことを紹介したい。

コーネル大学はニューヨーク州イサカにメインキャンパスをもつ。イサカは南北に細長いカユガ湖の南端に位置する人口3万人の小さな街で、その街と湖を見下ろす丘の上に大学のキャンパスがある。マンハッタンにある医学部も含め、学生2万4千人、教員1700人からなる総合大学だ。物理科学、数学、人文・社会科学、法学はもとより、音楽、ホテル学、獣医学、鳥類学などの専門分野ごとに図書館があり、その数は16にのぼる。

かれこれ二十年にわたり毎年同大学を共同研究のために訪問してきたので、米国の一大学を定点観測しているようなものだ。滞在期間中には電子ジャーナルを大いに利用し、図書館にも何度も足を運ぶ。まず、一利用者の感想としては、蔵書および電子ジャーナル・データベースに関して必要なものはほぼ全て調っている、と言える。少なくとも、書籍や文献を探して、その場で手に入らなかった記憶がない。また、分野ごとの図書館が各研究所・学部を整備されているため、ほんの数分で目的の図書館にたどり着ける。このように大変便利な図書館環境であるが、急激な外的変化——雑誌数の急増と購読料の高騰——に対して変化がないはずはない。事実、長年の共同研究者でもあるコーネル大学教授から、ある雑誌が最近読めなくなってしまった、岡山大学ではどうか、と尋ねられたときには、この大学でも購読中止される雑誌があるのか、と驚いた。

では実際、このコーネル大学図書館はどのような体制で運営され、外部環境の変化にどう対応しているのだろうか。大学全体の電子ジャーナル整備を担当する司書が、最新の内部情報も

含めて説明してくれた。中央及び専門図書館に属する司書は45名おり、各専門分野の司書は当該分野の図書選定と蔵書整備を担当し、当該学科の教員・学生からの研究・教育・勉学に関する個別相談を受ける。大学図書館全体の予算は約二千数百万ドル、電子ジャーナル・データベース経費はその7割以上を占め、千九百万ドル（約20億円）である。ちなみに、コーネル大学の教員数は岡山大学の1.3倍、学生数は1.8倍である。図書館予算は過去7年間一定であるが、電子ジャーナル経費は年3～5%増加している。そのため、今後は電子ジャーナル経費を一定にするよう図書館長から指示されている、とのことであった。大規模予算で多様な電子ジャーナルをどのように選定しているのか。

電子ジャーナル選定プロセスは、電子資料担当の司書団が利用状況の調査、出版社との交渉、最終案の決定をし、その結果を図書館長が承認し、学長に報告することで終了する。司書団は統括班と4つの専門分野チーム（自然科学、社会科学、人文科学、地域研究）を構成する。統括班は“Big Deal”と呼ばれる大手出版社の大ロパッケージの購入や解約を担当する。一方、専門分野チームは、当該分野の個別雑誌および小ロパッケージを担当する。どの大学図書館にとっても、電子ジャーナル環境を改善または維持するための最大の鍵は、大ロパッケージ経費をいかに抑制するか、ということだろう。コーネル大学図書館・統括班（=Big Deal 担当）は、契約更新の際、かなり良い条件を引き出して、経費抑制に成功している。その鍵は大学から大手出版社への提案と交渉である。ここでは交渉術の詳細には立ち入らないが、プロによるトレーニングを受けた交渉チームが、タフな交渉相手に負けない交渉を行い、よいディールを引き出している。それだけではなく、情報公開の原則に立ち、交渉の「結果」すなわち「契約額」を図書館ウェブサイト公開している。このような交渉ができる背景には、交渉を担う司書団に与えられている権限が大きいこともあるだろう。例えば、大ロパッケージを解消するか否は、統括班が専門分野チームと連携し、決定する。専門分野チームはさらに当該分野の個別雑誌・小ロパッケージの入れ替えや新規契約を判断する。以上のような大きな決断を含む選定作業を一ヶ月で終了させるという。そして変更に対するユーザーからのフィードバックを次の選定作業に取り入れる。このような仕組みが機能するためにはいくつかの条件——司書数とその専門性、司書と教員との関係、大学における学術情報経費の位置づけ等——が必要だろう。

米国のある大学図書館の例から全体を推すことはできない。しかし、高い研究力を維持している大学は外部環境の変化に素早く、効果的な対応をし、研究環境を整えていると言えるだろう。研究環境が悪化すれば研究力が低下するのは必然だからだ。学術情報の発信・受信に関しては、しばらく変化が続くだろう——論文数の増大、電子ジャーナル価格の高騰、オープンアクセス論文の増加とそれに伴う掲載料の負担増など。これらの一連の変化が落ち着き、定常状態になるまでの間、研究環境を維持するためには、図書館と研究推進を担う部門が連携して素早く有効な対応をとるほかはないだろう。

急速な電子化に伴う図書館の変化は、時には、図書館を訪れる喜びを脅かす場合もある。その一例としては、私が最もよく利用してきたコーネル大学の物理科学図書館があるとき急にオンライン図書館と化し、書架に並んでいた雑誌のみならず膨大な図書もすべて別の図書館に移動され、机だけが並ぶ広大な自習スペースに変わったことが挙げられる。しかし、この変化は例外で、多くの他の図書館は今も昔も、そこにいるだけで満たされた気分になり、雑事を忘れ思考に専念できる静かな空間を提供している。一般には、そのような実空間を良い状態で保存し続けることは、仮想空間を整備するよりも優先順位が低くなりがちだろう。

「なぜ人は図書館に行くのか？」という問いが成り立つ程度に、大学図書館は「実空間」として魅力的であるほうが良いと私は思う。「学内で最も好きな場所は図書館です」と多くの学生が答えるような図書館であれば尚良いと思う。一方で、電子ジャーナルに代表される「仮想空間」の充実は研究活動に必須の条件である。要するに、今の大学図書館は二つの異質な空間＝環境の整備を担わされていて、しかも一方では急激な変化に柔軟かつ適切に対応しなければならず、他方では人を落ち着かせるような雰囲気を伴う施設を提供しなければならないという、高度な課題を与えられている、ということになる。そこで重要なことは、遠大な教育研究理念を掲げつつ多大な労力を伴う制度変更を終えて良しとするのではなく、実際に実行可能な対策をとり、少しでも良い結果を生むことだろう。その意味において、海外の大学図書館の状況と対策から学ぶべきことは少なくないと思われる。

(こうが・けんいちろう 附属図書館副館長)

大学院予備教育特別コースにおける 図書館ガイダンス -その内容と意義-

金光 紀子

はじめに

留学生を対象とした岡山大学大学院予備教育特別コース（プレマスターコース）の『学術日本語表現Ⅱ』のクラスでは、初年次の第2週目の授業で、図書館員による図書館ガイダンスを受けている。これは、岡山大学の充実した図書館設備に対する理解を深め、実際の利用法を学ぶことにより、半年から1年後に控えている院試の受験準備において、また、研究や娯楽などさまざまな目的に応じて、図書館を十分に活用できるようになることを目的としている。さらに、本クラスの生教材として使用する、学生のアシスタント・アドバイザーが執筆した論文を、このガイダンスで学んだことを活かして入手する、という目的もある。

本稿では、この図書館ガイダンスの内容と、ガイダンスを受けた留学生を対象としたアンケート調査から明らかになった図書館ガイダンスの意義について述べる。

図書館ガイダンスの内容

①図書館の基本情報の説明

岡山大学の3つの図書館のうち、ガイダンスを行う中央図書館の基本的な情報（開館日や開館時間、資料の借り方、返し方など）の説明を受ける。

②館内見学

主な資料（新聞、雑誌、辞書、新書、専門書、DVD等）、各種学修スペース、パソコンやコピー機等の機材、参考調査カウンター等の設置場所や利用方法、利用上の注意について、説明を聞きつつ館内を見学する。

③文献検索、入手実習

情報実習室のパソコンとスライド、配布資料を用いて、岡大図書館のHPやCiNii Articles等を通して文献を検索したり入手したりする方法を学び、各自のアシスタント・アドバイザーの研究論文を探して印刷する。

図書館ガイダンスについてのアンケート調査

1. アンケート調査の概要

2019年4月に図書館ガイダンスを受けたプレマスターの留学生10名を対象とし、同年8月に図書館ガイダンスについてのアンケート調査を行った。以下、その質問内容と回答数を記す。

1. あなたは、図書館ガイダンスを受ける前に図書館を利用していましたか？
 - a. よく利用していた 3名
 - b. ときどき利用していた 4名
 - c. ほとんど利用していなかった 1名
 - d. 利用したことがなかった 2名

2. (a、b、cと答えた人は) 図書館ガイダンスを受ける前は、図書館で何をしていましたか？
(いくつでも)
 - a. 本や雑誌を借りていた 3名
 - b. 本や雑誌を読んでいた 4名
 - c. 新聞を読んでいた 1名
 - d. DVDやCDを利用していた 0名
 - e. 学修スペースで勉強していた 8名
 - f. 図書館のスタッフに資料などの相談をしていた 1名
 - g. その他 (回答無し)

3. 図書館ガイダンスを受けた後、図書館を利用する回数はどうなりましたか？
 - a. 増えた 7名
 - b. 減った 0名
 - c. 変わらない 3名

4. 図書館ガイダンスを受けた後、図書館で何をしていますか？ (いくつでも)
 - a. 本や雑誌を借りている 8名
 - b. 本や雑誌を読んでいる 7名
 - c. 新聞を読んでいる 2名
 - d. DVDやCDを利用している 0名
 - e. 学修スペースで勉強している 8名
 - f. 図書館のスタッフに資料などの相談をしている 0名
 - g. その他 (コピーをとる)

5. 図書館ガイダンスで役に立ったことはどんなことですか？自由に書いてください。
 - ・図書館の利用のしかたや注意点がわかった。
 - ・図書館のどこにどんな資料があるのかわかった。
 - ・図書館のパソコンの使いかたがわかった。
 - ・資料の探しかたがわかった。探すスピードが速くなった。
 - ・いろいろなスペースがあることや、その使いかたがわかった。
 - ・コピーのとりかたがわかった。

6. 図書館ガイダンスの改善点があれば、自由に書いてください。

- ・改善点無し。とてもわかりやすい。完璧。等 7名
- ・図書検索ページで「在庫中」と表示されたが、実際に本棚に文献がなかった。1名

2. アンケート調査結果の分析

図書館の利用回数については、10名中7名の学生がガイダンス後に「増えた」と回答した。「変わらない」と回答した3名のうち2名はガイダンス前から図書館をよく利用し、1名は時々利用していたということで、ガイダンスを機にほとんどの学生にとって図書館がより身近な存在となったことが伺える。

図書館で何をしているかについては、ガイダンス前より後のほうが利用の幅が大きく広がったことがわかる。特に、「本や雑誌を借りる」と答えた学生は3名から8名へと大きく増えた。

一方、「CDやDVDを利用する」「図書館スタッフに資料などの相談をする」という学生はガイダンス前も後もほとんどおらず、院試前という事情もあるだろうが、まだ図書館を十分活用できているとは言えない。

自由記述の回答からは、1名のみガイダンス通りに文献を探せなかったという学生がいたものの、大半は図書館ガイダンスに大いに満足していることが伺えた。

まとめ

プレマスターコースの初年次における図書館ガイダンスは、大学院受験を控えた留学生にとって、図書館に対する理解を深め、図書館を活用する貴重な契機となっている。ガイダンス時に配布される資料も要点を絞ってわかりやすく編集されており、学生たちが論文を探す実習時に参考に見られたし、ガイダンス後に自分で図書館を利用する際にも大きな助けとなっていることだろう。ガイダンスを担当してくださる図書館員の方のご尽力に深く感謝するとともに、ガイダンスを受けた学生たちがこれからも岡山大学の素晴らしい図書館を十二分に活用し、充実した留学生活を送ることを願っている。

(こんこう・のりこ グローバル人材育成院 非常勤講師)

マスカット

池田家文庫絵図展のお知らせ

池田家文庫は、江戸時代の備前岡山藩の藩政資料を中心とした約 10 万点にもものぼるコレクションで、現在は岡山大学附属図書館が保管しています。2005 年 3 月には岡山市と岡山大学の間で文化事業協力協定を結び、以後池田家文庫の特徴の一つでもある「絵図」を中心とした展覧会を毎年開催しています。

今回の展覧会では元号改元にあたり「武家と天皇」をテーマに展示します。また、テーマにあわせて林原美術館の所蔵品も一部ご紹介いたします。

1. 名 称：企画展池田家文庫絵図展「武家と天皇」
2. 会 期：2019 年 10 月 19 日（土）～11 月 4 日（月・祝）（休館日を除く 15 日間）
[休 館 日] 10 月 21 日（月）、10 月 28 日（月）
[開館時間] 10：00～18：00（入場は 17：30 まで）
3. 会 場：岡山シティミュージアム 5 階常設展示室
〒700-0024 岡山市北区駅元町 15-1
4. 入 場 料：無 料
5. 主 催：岡山大学附属図書館、岡山シティミュージアム 協 力：林原美術館
6. 関連行事：

[オープニングトーク]

日 時 2019 年 10 月 19 日（土）10：00～10：30

会 場 岡山シティミュージアム 5 階常設展示室

講 師 岡山大学 特命教授 倉地克直氏

内 容 この展覧会を監修された倉地克直先生に展覧会場でお話しいただきます。

備 考 予約不要

[講演会]

日 時 2019 年 10 月 26 日（土）14：00～16：00

会 場 岡山シティミュージアム 4 階 講義室

講 師 専修大学 名誉教授 荒木敏夫氏

演 題 「大嘗祭」の誕生—古代の皇位継承儀礼の生成と変異—

備 考 定員 80 名（予約不要、当日先着順）

7. 主な展示資料：

- ・大嘗祭図 ・御即位絵図
- ・禁中御指図 ・新院御所御指図
- ・松平新太郎宛権大納言局奉書 ・備前少将宛綾小路宣旨局奉書



岡山大学公開講座「江戸時代の倉敷の町の成り立ち―幕府代官陣屋元村の特徴―」実施報告

日時：2019年9月20日（金）14：00～16：00

場所：中央図書館本館3階セミナー室

講師：倉敷市歴史資料整備室 副参事 山本 太郎 氏

参加者：55名

今年の公開講座では、江戸時代以前から幕府直轄領の成立にいたる倉敷の歴史や地名の由来、倉敷の町の特徴などについて、講師の山本先生に詳しく説明していただき、質疑応答も含めてわかりやすく語っていただきました。また、会場近くのロビーに池田家文庫の資料や倉敷市提供の資料等を活用した倉敷の町に関する展示も行いました。

当日は55名の方に参加いただき、「歴史を知るとその地に愛着がわきます」「町を歩くのも今までと違った見方が出来ると思う」などの声をいただき、盛会のうちに終了しました。



中央図書館ミニ展示報告

中央図書館本館1階ロビー・本館2階サルトフロrestaで、当館資料を紹介するミニ展示を実施しました。

2019年4月～9月は以下のテーマで展示しました。

4月 「学生のみなさんへ 新学期応援おすすめ本」

5月 「岡山を読む」、「レポート・論文の書き方」

（本館2階サルトフロrestaにて、館内講習会との連動展示）

6月7月 「情報・通信特集」

8月 「岡大生準備号」（オープンキャンパス企画）

9月 「生協寄贈図書」



オープンキャンパス報告

中央図書館および鹿田分館は、2019年8月10日（土）、11日（日）の2日間、オープンキャンパスでにぎわいました。

会場では、大学の授業で使用する教科書の展示や岡山大学記録映像の上映、解剖学アプリの紹介などを行いました。

2日間にご来館いただいた高校生、保護者の方は、中央図書館で4,820名、鹿田分館で467名に達しました。

植物研分館 一般展示について

2019年5月11日（土）資源植物科学研究所一般公開に合わせて、植物研分館は貴重資料の一般展示「シンボルになった植物」を実施しました。分館所蔵の貴重資料であるペッファール文庫、大原農書文庫、大原漢籍文庫を中心に、書籍21点、複製パネル31点を展示しました。今年は天皇陛下の代替わりもありましたので、話題に絡めて皇室の「おしるし」について一部展示しました。

また、研究所一般公開ではクイズラリーを開催しており、分館はそちらにも参加しております。今年も展示内容からクイズを出題し、お子さんから大人まで参加者のみなさまに楽しんでいただきました。なお、こちらの展示はその日限りではなく、秋口まで史料館1階にてご観覧いただけます。



2019年度「池田家文庫子ども向け岡山後楽園発見ワークショップ」(夏) 実施報告

2019年6月16日（日）、附属図書館と教育学部の共催による「池田家文庫子ども向け岡山後楽園発見ワークショップ」を岡山後楽園で開催し、23名（小中学生12名、同行者11名）の方にご参加いただきました。

参加者は学生による紙芝居で後楽園の歴史を勉強したあと、附属図書館所蔵の後楽園の昔の絵図（複製）を使って、自分たちで園内を回る道順を決めました。絵図を手手に園内を回り、絵図に描かれた各時代の後楽園と現在の後楽園を見比べることで、普段とは違う視点から後楽園の魅力を発見しました。最後に、各グループごとに自分たちの発見を発表し合いました。

サルトフロresta展示報告

中央図書館本館2階のサルトフロrestaでは各種の展示を行っています。サルトフロresta内イチョウエリアでは学内の研究成果を発表する「知恵の見本市」のポスター等の展示を実施しています。また、同じくクスノキエリアの展示スペースでは、学内の資源を使った様々な展示を行っています。具体的な実施内容は以下の通りです。

- ・「生田安宅と鹿田キャンパス」

岡山大学医学部の起源は明治3年（1870）に岡山藩が岡山に設立した岡山藩医学館に遡ります。岡山藩医学館は設立1年後の廃藩置県で財政難により存続の危機に立たされます。この時、運営の立て直しに奔走し、県病院設立に尽力した人物が生田安宅でした。

この展示では、生田安宅に関する資料の展示と、岡山大学医学部前身の資料などを展示し、鹿田キャンパスの歴史を紹介しました。

展示期間：2019年3月29日（金）～8月2日（金）

展示場所：本館2階 サルトフロresta内クスノキエリア

展示資料：近藤萬太郎の遺品から、博士号学位記・大原孫三郎書簡・写真等

※ いずれも複製展示。

・「古写真と絵図で見る岡山の教育」

古くは江戸時代の藩学校から現在の岡山大学へと続く、岡山の教育を古写真と絵図で振り返る展示です。オープンキャンパスの2日間はラーニングコモンズで岡山大学記録映像も上映しました。

展示期間：2019年8月8日（木）～

展示場所：本館2階 サルトフロresta内クスノキエリア

展示資料：鹿田キャンパス・倉敷キャンパス航空写真（昭和38年撮影）など

※ 航空写真以外はいずれも複製展示。



「生田安宅と鹿田キャンパス」



「古写真と絵図で見る岡山の教育」

新貴重資料データベース「古文献ギャラリー」を公開

岡山大学附属図書館では新貴重資料データベース「古文献ギャラリー」を2019年3月29日（金）より当館ホームページで正式公開しました。

この「古文献ギャラリー」では、従来インターネット公開していなかった国指定重要文化財「信長記」や、池田家の江戸藩邸に関する資料であり原本である可能性の高い「備藩邸考」、多くの写本中에서도異彩を放つ珍本「平家物語」（小野文庫）の全文を公開しています。

本データベースはデジタル画像利用の国際規格である IIIF（International Image Interoperability Framework）を採用し、閲覧はもちろんのこと、ダウンロードや掲載等の二次利用についても、当館への別段の申請なくご利用いただけます。IIIF 準拠とすることで、全世界から手軽に画像



「古文献ギャラリー」

<http://ousar.lib.okayamau.ac.jp/ikedake/komonjo/ja>

を利用できるようになり、研究の進展が大いに見込めると期待しています。

また、これに伴い、従来ご利用いただいていた「三浦家文書デジタルギャラリー」は2019年3月29日（金）以降、「古文献ギャラリー」に移行し、2019年4月26日（金）を以って閉鎖しました。

中央図書館 作業スペースの新設について

2019年7月、中央図書館西館1階コピー機前に「作業スペース」を新たに設置しました。作業スペースでは、備え付けのホッチキス・紙の裁断機・ハサミ・穴あけパンチ・ノリを自由に使うことができます。資料作りやレポートの作成・コピーの整理等にお役立てください。これで中央図書館ではレポートの準備・下調べから執筆、プリントアウトに提出前の体裁を整えるところまで、全て館内でできるようになりました。皆様のご利用をお待ちしております。



教育用プリンタの有料化について

2019年4月から、全学的に教育用プリンタが有料化することに伴い、図書館内の教育用プリンタも有料となりました。今後は、プリンタを利用する際は事前に大学生協でプリンタポイントを購入する必要があります。プリンタポイントは1ポイント4円、50ポイント（200円）単位で購入できます。モノクロ印刷1面1ポイント、カラー印刷1面5ポイントとなっています。購入したポイントは卒業まで有効（岡大大学院進学時は保有ポイント引継ぎ）です。教育用プリンタでプリントアウトする際はポイントが必要である旨、ご注意ください。

多目的トイレに折りたたみベッドを設置

2018年11月、中央館本館1階ラーニングコモンズ前、同西館1階と3階にある多目的トイレ内に、折りたたみベッドを設置しました。着替え等の際、横になる必要がある方々の利用を想定しています。気分が優れないといった場合は、別に救護室がありますので、職員にお申し出下さい。



オリエンテーション・データベース講習会実施報告

○中央図書館

中央図書館では2019年4月～7月にオリエンテーション等を実施し、延べ1,188名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション、ツアー

実施日	対象	参加人数
4月9日～26日	新任教員	10
4月24日	放送大学学生	8
4月4日～5月30日	新入生	623

ガイダンス

実施日	講習会名	参加人数
4月23日、24日、5月7日	図書館・文献検索ガイダンス (教員の依頼により授業・ゼミ等で実施)	79
4月16日、24日	ライティング・サポート・セミナー (教員の依頼により授業・ゼミ等で実施)	146
5月16日、17日、22～24日、 29日、7月17日、18日、24 日、25日	ライティング・サポート・セミナー	266

データベース講習会

実施日	データベース名	参加人数
6月13日、7月11日	SciFinder Web 版	18
6月28日	Web of Science、 EndNote	16
7月4日	Econlit	1
7月4日	PsycINFO	2
7月5日	JapanKnowledge	13
7月10日	JDreamIII	1
7月24日	MLA	5

○鹿田分館

鹿田分館では2019年3月～7月にオリエンテーション等を開催し、延べ765名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
3月8日	育成プログラム	18
4月2日～13日	新入生	550
4月3日	医学科2年次編入生	5
4月13日	医歯薬学総合研究科博士課程	53

講習会

実施日	講習会名	参加人数
3月29日	医中誌	1
4月5日	UpToDate	18
4月5日	図書館利用案内、UpToDate	48
4月11日	医中誌、PubMed、Web of Science	1
4月19日	PubMed	1
4月23日	文献入手講座（大学院学生）	3
4月23日	文献入手講座（秘書向け）	8
4月24日	文献入手講座（秘書向け）	3
4月25日	医中誌	11
5月27日	CINAHL	17
6月27日	Web of Science、EndNote	20
7月3日	EBM Reviews	8

○資源植物科学研究所分館

資源植物科学研究所分館では2019年4月～6月にオリエンテーション等を実施し、延べ120名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
4月3日	環境生命科学研究科新入生	1
5月21日	農学部新入生	119

教員からの寄贈図書リスト

次の方々から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

<中央図書館>

光本 順 [大学院社会文化科学研究科]

「ジェンダーの多層性に関する領域横断的研究」記録集（岡山大学文学部プロジェクト研究報告書）——岡山大学文学部、2019.3 (F367.1/J)

山川 純次 [大学院自然科学研究科]

大学で学ぶ化学——化学同人、2012.12 (430/K)

山本 宏子 [名誉教授]

太鼓の文化誌——青弓社、2017.12 (763.85/Y)

中国泉州「目連」木偶戯の研究——春秋社、2006.2 (777.223/Y)

アジアの無形文化における仮頭の研究：仮面との比較から
——立教大学アジア地域研究所、2011.3 (F386.8/A)

ユーラシアにおける仮頭文化の研究——立教大学学術推進特別重点資金(立教 SFR)プロジェクト研究(自由プロジェクト研究)「ユーラシアにおける汎文化圏的な世界認知の研究--仮頭・仮面に着目して-」、2013.3 (F386.8/Y)

松田 陽一 [大学院社会文化科学研究科]

組織変革における抵抗のマネジメントに関する研究：理論と実態（岡山大学経済学研究叢書第50冊）——岡山大学経済学部、2019.3 (336.3/M)

新納 泉 [名誉教授]

二万大塚古墳——二万大塚古墳発掘調査団、2018.9 (F217.5/N)

前方後円墳の三次元計測（科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書）
——[新納泉]、2018.3 (F217.5/Z)

西山 康一 [大学院社会文化科学研究科]

薄田泣菫読本——翰林書房、2019.3 (911.52/S)

青尾 謙 [大学院ヘルスシステム統合科学研究科]

Social innovation scaling process in East Asia : bridging the gaps between stakeholders
——University Education Press、2019 (364.1/A)

和田 豊 [大学院社会文化科学研究科 (寄贈時)]

価値の理論 第3版——桜井書店、2019.3 (331.6/W)

姜 克実 [名誉教授]

我が人生遍歴——[出版社不明]、2019.3 (289.1/K)

日軍檔案中出現的平型關大捷 平装(頂尖文庫 EA019)——元華文創、2018.10 (222.075/K)

岡山大学出版会からの寄贈図書リスト

岡山大学入門講座&キャリア形成基礎講座 2019 テキスト編集委員会

岡山大学入門講座&キャリア形成基礎講座 2019——岡山大学出版会、2019.3 (F377.9/O)

会議

◆学外

- | | | | |
|-----------|--|-----------|---|
| 2019.3.5 | 2018年度大学図書館コンソーシアム連合
(JUSTICE) 総会 (於：一橋大学) | 2019.6.3 | 令和元年度岡山県図書館協会総会
(於：岡山県立図書館) |
| 2019.4.18 | 第67回中国四国地区大学図書館協議会総会
(於：あわぎんホール) | 2019.6.4 | 2019年度オープンアクセスリポジトリ推進
協会(JPCOAR)第8回運営委員会
(於：国立情報学研究所) |
| 2019.4.19 | 第46回国立大学図書館協会中国四国地区協会
総会(於：あわぎんホール) | 2019.6.6 | 岡山県大学図書館協議会令和元年度第1回総会
(於：倉敷芸術科学大学) |
| 2019.5.20 | 2019年度オープンアクセスリポジトリ推進協
会(JPCOAR)第1回企画調整会議
(於：国立情報学研究所) | 2019.6.20 | 第66回国立大学図書館協会総会
～21 (於：ホテルグランヴィア岡山) |
| 2019.5.30 | 日本医学図書館協会第90回通常総会・分科会
～31 (於：日本教育会館) | | |

◆学内

- | | | | |
|-----------|----------------------|-----------|--------------------|
| 2019.5.14 | 令和元年度第1回岡山大学出版会運営委員会 | 2019.7.11 | 令和元年度第1回附属図書館運営委員会 |
|-----------|----------------------|-----------|--------------------|

研修

- ・令和元年度大学図書館職員長期研修
参加者 中山 千佳子 (7.1～12)
- ・LIMEDIO Seminar 2019
参加者 岩佐 美紀 (7.9)
- ・令和元年度岡山大学実践型グローバルビジョン研修
参加者 西村 朋子 (7.24)
- ・第4回JMLAコア研修
参加者 遠矢 厚志 (8.1～2)
- ・第8回中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員
フレッシュパーソンセミナー
参加者 石丸 綾華 (9.12～13)
- ・JUSTICE 2019年度版元提案説明会
参加者 山田 智美 (9.12～13)
- ・2019年度図書館等職員著作権実務講習会
参加者 羽田 まどか (9.26～27)

編集委員から

今年の夏もうだるような暑さでしたが、みなさま体調を崩さずに学業復帰できていますか？
今号が出ている頃には少し涼しくなっていることを祈ります。

さて、みなさま植物研分館がどこにあるかご存知でしょうか。倉敷駅から南にまっすぐのびた道を15分ほど歩くと右手に資源植物科学研究所があります。市街地のど真ん中に圃場を有する研究所があるのは珍しいのではないかと思います。研究所敷地内に分館は建っており、研究者と院生さんしかいない、なかなか濃密な利用者にサービスを提供しています。直接貸出はできませんが、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。(Y.K.)

岡山大学附属図書館報「楷」 No.69 2019年10月1日
発行人 大元利彦 編集 広報ワーキング
岡山大学附属図書館発行 〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1-1
ホームページ URL <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/>